



【公開制作】
成果展の期間中は毎週日曜日（他含む）に公開制作が開かれています。パーツ作りはいつでも参加することができ、作られたものは大平さんの作品の一部に使用。成果展の期間を通して来場者と創り上げていく作品になっています。



《日常》
大平さんが日々目にしている津奈木の日常の景色が描かれています。これまでの記憶からいくつもの時間帯や色を組み合わせながら描いています。



《流転》
2019年に参加した「アーティストインレジデンス2019」のときにつなぎ美術館が収蔵した6枚の絵から成る《流転》に新たに制作した2枚を追加した8枚で構成されている作品。



《2020.7.8》（左）《2020.7.12》（上）
令和2年7月豪雨災害が大きかった平国地区の様子を描いた作品。使われている絵具には平国の土が使われています。



【その他展示物】
会場には大平さんが作品制作で実際に使用した道具や画材に加え、3年間の活動の中で制作したTシャツなどのグッズも展示されています。

《つなぎのフード史シリーズ》
個人の食卓や町内で出会った食べ物や町内の特別養護老人ホーム利用者を対象としたアンケートをもとに描かれています。

